



あなたの
“知から”
が必要です。

潰瘍性大腸炎ってどんな病気？

治療薬はあるの？

病気を抱えながら生きるってどういうこと？

わたしにできることはある？

まずは知るところから、

チカラを貸してください。



潰瘍性大腸炎を治す薬の開発にはあなたの支援が必要です！

KU: P

京都大学大学院医学研究科消化器内科
潰瘍性大腸炎 治療薬開発 プロジェクト

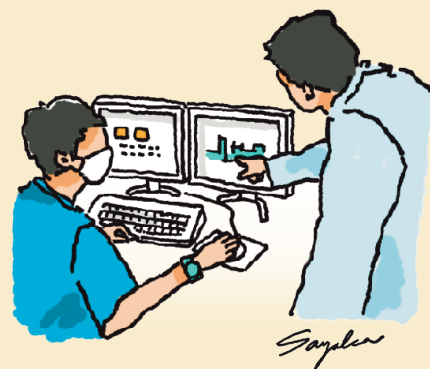


潰瘍性大腸炎の根本的な治療薬の開発に、“知から”を貸してください。

●●●●●
UC(潰瘍性大腸炎)の正体は？——100年間、世界が解明できなかった謎の一端を、私たちはここ数年で明らかにしました。悪さをしているのは、免疫システムの誤作動によって生まれた『抗インテグリン $\alpha\text{v}\beta 6$ 自己抗体』！この発見は、世界初となる根本的な治療薬の開発を一気に加速させました。患者さんたちが一日千秋の思いで待ち焦がれる薬の開発に、どうか“知から”を貸してください。

たとえばこんな“知から”をください！

- ・チラシをきっかけに、潰瘍性大腸炎について会話する
- ・自分たちにできることを考えてみる
- ・プロジェクトの情報を親しい人に拡散する
- ・寄付金で、プロジェクトを支援する etc.



UC(潰瘍性大腸炎)とは？

大腸の粘膜にびらん（ただれ）や潰瘍が生じ、頻回な血便、下痢、腹痛に襲われる難病です。根本的な治療法はなく、良くなったり（寛解）、悪くなったり（再燃）を繰り返します。小児から高齢者まで幅広い年齢で発症しますが、特に多いのは男女とも20代～30代。患者は増加傾向にあり、日本では30万人以上、世界全体で500万人以上が罹患しています。

今ある治療薬と課題

根本的な治療薬はないため、炎症を抑えたり、免疫の異常な働きを制御する薬が使用されます。近年は分子標的薬などの登場により治療の選択肢は広がっていますが、一部の患者さんでは副作用が問題になったり、十分な効果が得られないこともあります。また、寛解に至った後でも再燃のリスクは高く、薬の効果が出るまでに時間がかかる点も課題とされています。

完治できる日は目前

2021年に私たちはUCの発症に関わる抗体を世界で初めて突き止め、その成果をもとに診断キットを開発。販売を開始し、26年には保険適用を受けて広く普及させてまいります。次はいよいよ治療薬です。27年には、根本的な治療法の臨床試験に進むのが目標です。より多くの患者さんに、より確実な効果が期待できる治療の完成は目前に迫っています。

